

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【公開番号】特開 2010-237212 (P2010-237212A)

【公開日】平成 22 年 10 月 21 日 (2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報 2010-042

【出願番号】特願 2010-76541 (P2010-76541)

【国際特許分類】

G 2 1 C 5/00 (2006.01)

G 2 1 C 15/243 (2006.01)

【F I】

G 2 1 C 5/00 A

G 2 1 C 15/243 5 2 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 30 日 (2012.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原子力プラントの原子炉圧力容器 (R P V) (10) 内に配置された構造体と、外周上に配置された少なくとも上方ラグおよび下方ラグを備える給水スパーチャ管 (20) との間に障壁を提供するように構成されたベアリングプレート (215) と、

下方セクション (210) であって、

第 1 のジャッキングボルト (225) と、

前記第 1 のジャッキングボルト (225) の位置を固定して、前記第 1 のジャッキングボルト (225) を指定位置に固定するための第 1 のクリンプカラー (220) と、

前記ベアリングプレート (215) に組み付けられた第 1 の下方表面と、

前記下方ラグを受けて対合する切欠部を備え、前記給水スパーチャ管 (20) の一部分を保持するように構成された第 2 の下方表面と

を備えた下方セクション (210) と、

前記下方セクション (210) に摺動可能に連結された上方セクション (205) であって、

穴であって、前記第 1 のジャッキングボルト (225) が、前記下方セクション (210) を貫通し、次いで前記穴を貫通して移動し、次いで前記ベアリングプレート (215) の一部分にて止まって、上方セクションを前記下方セクション (210) に固定するように構成される、穴と、

前記ベアリングプレート (215) に組み付けられた第 1 の上方表面と、

前記上方ラグを受けて対合する切欠部を備え、前記給水スパーチャ管 (20) の一部分を保持するように構成された第 2 の上方表面と

を備えた上方セクション (205) と

を備え、

前記ベアリングプレート (215)、前記下方セクション (210)、および前記上方セクション (205) は、前記給水スパーチャ管 (20) を固定するように構成され、

前記下方セクション (210) および前記上方セクション (205) は、前記ベアリングプレート (215) の対向表面から一定の距離の位置に前記給水スパーチャ管 (20)

を協働的に固定し、前記給水スパージャ管（２０）が被る振動を減衰するように構成された、装置。

【請求項２】

前記上方セクション（２０５）が、

前記ベアリングプレート（２１５）に前記上方セクション（２０５）を固定するための第２のジャッキングボルト（２３５）であって、第２のクリンプカラーにより固定される、第２のジャッキングボルト（２３５）と、

前記給水スパージャ管（２０）に前記上方セクション（２０５）および前記下方セクション（２１０）をクランプ締めするための少なくとも１つのピンチボルト（２４０）であって、前記第２のクリンプカラー（２３０）によって固定される、少なくとも１つのピンチボルト（２４０）と

を備える、請求項１に記載の装置。

【請求項３】

前記少なくとも１つのピンチボルト（２４５）と前記第２のジャッキングボルト（２３５）との間の支持面を与えるピンチプレート（２４０）をさらに備えることを特徴とする請求項２に記載の装置。

【請求項４】

前記上方セクション（２０５）は、前記第２のクリンプカラー（２３０）の一部分、前記ベアリングプレート（２１５）の一部分、および前記ピンチプレート（２４０）の一部分が位置することが可能である空洞部を備えることを特徴とする請求項３に記載の装置。

【請求項５】

前記ベアリングプレート（２１５）の長さが、前記上方セクション（２０５）が前記下方セクション（２１０）に組み付けられた場合の、前記上方セクション（２０５）および前記下方セクション（２１０）の組み合わせられた長さを越えて延在することを特徴とする請求項１に記載の装置。

【請求項６】

少なくとも１つのピンチボルト（２４５）によって前記上方セクション（２０５）および前記下方セクション（２１０）に加えられる圧縮荷重が、前記第１のラグおよび前記第２のラグの移動を抑制することを特徴とする請求項１に記載の装置。

【請求項７】

前記少なくとも１つのピンチボルト（２４５）によって前記上方セクション（２０５）および前記下方セクション（２１０）に加えられる前記圧縮荷重は、前記給水スパージャ管（２０）に対する予荷重を回復させることを特徴とする請求項６に記載の装置。